

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2021-04-01

No. 129



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

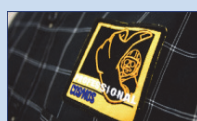
<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-4-3 Ed. 4.0 (2020-09) – 放射高周波電磁界へのイミュニティ試験(2/2)3	
IEC: 新規格リスト	7
ISO: 新規格リスト	10
UNECE: 車両規制の整合化のための世界フォーラム 182 回目セッション報告書発行(3/3).....	11
UNECE: 3つの画期的な国連車両規制が 2021 年 2 月 5 日に発効	13
国際テーマ: ブラジルにおける新しい認証要求事項	15
先月号の「国際テーマ: メキシコ: 製品の輸入に関する規制の変更点」お詫びと訂正	15
国際テーマ: ドイツ: IT/AV 機器の GS 認証のための規格: EN IEC 62368-3 : 2020 関連	15
国際テーマ: 欧州: 「修理する権利」のある製品を含む欧州決議	16
国際テーマ: 欧州でハロゲン系難燃剤の使用が制限: テレビ、ディスプレイモニター等	16
国際テーマ: インドにおける通信機器の試験および認証に関する最新情報	17
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	17
USA: FCC: KDB: 相互承認協定 (MRA) の条件に基づいた適合性評価機関の承認の手続き ..	19
USA: CPSC: パンデミック: 製品関連の一部の傷害に対する救急治療室の処置が増加	20
USA: FDA: 1997 年近代化法: 認知規格リストの修正、認知リスト番号: 054	21
USA: FTC: エネルギーラベル規則改正: 中央式空調機への修正等	21
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	22
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	23
USA: IEEE: 新規格リスト	24
EU: 総務省: 欧州における認証制度の変更点: 総務省 MRA 国際ワークショップから	26
EU: EMC 指令整合規格: 制御回路デバイス、マルチメディア機器関連変更	28
EU: 機械指令整合規格: 委員会実施決定 (EU) 2021/377 発行: サマリーリストの更新	29
EU: 委員会実施規制 2020/1812, 2021/133 発行: 車両の電子形式の適合証明書のデータ交換 ..	29
EU: 新しい EU エネルギーラベル: 2021 年 3 月 1 日から適用: 単純な A-G スケールに戻る ..	30
EU: CENELEC: 新規格リスト	31
EU: ETSI: 新規格リスト	33
UK: 製品安全: グレートブリテンに関して、2021 年 1 月 1 日から何が変更されたか? (1/3) ..	33
UK: 21 世紀に適合するよう製品安全法を近代化する: 人工知能や 3D 印刷などに対応	35
ニュージーランド: 無線スペクトル管理コンプライアンスガイド更新版発行	36
中国: SAMR: 吊り上げ機械の隠れた危険性の調査と処理に関する市場監督総局の通知	37
中国: SRRC: ワイヤレス充電 (送電) 機器の無線管理に関する暫定規定 (意見募集稿)	37
中国: CQC: 民生用 軽小型ドローンシステム認証開始に関する通知	37
中国: CQC: 強制性製品認証実施細則 自動車用ブレーキライニングの改訂公告	38
中国: 新規格リスト	38
台湾: 新規格リスト	40
韓国: 電磁両立性試験方法の改正通知: 別表の KN 試験方法を国家標準 (KS) に変更	40
韓国: 電磁両立性基準の改正通知: 家庭用電気機器、電動機器類基準: 周波数拡大等	41
総務省: 地中埋設型基地局等から発射される電波の強度等の測定方法等に係る技術的条件 ..	42
総務省: 工場内の電力線の利用一広帯域電力線搬送通信設備の高度化等に係る制度整備 ..	42
総務省: MRA 国際ワークショップ 2021 を開催	43
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2021 年 3 月分)	43
経済産業省: 電気温水機器 (家庭用ヒートポンプ給湯器) の新たな省エネ基準報告書	44
国土交通省、経済産業省: 高速道路におけるトラックの後続車無人隊列走行技術を実現	44
国土交通省: 建設工事への適用~国の機関として初めてのローカル 5G 無線局免許取得~ ..	44
ちょっといっぽく~クイズコーナー (番外編) 「上市」か? 「市場投入」か?	18
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	25
社長の独り言	45



IEC: 規格解説: IEC 61000-4-3 Ed. 4.0 (2020-09) - 放射高周波電磁界へのイミュニティ試験(2/2)

UNECE: 3つの画期的な国連車両規制が2021年2月5日に発効

- 昨年6月に車両規制整合化世界フォーラムによって採択された3つの画期的な国連車両規制は、国連事務総長からの通知を受けて、2021年1月22日に発効した。
- サイバーセキュリティおよびサイバーセキュリティ管理システムに関する国連規制第155号、ソフトウェアアップデート、およびソフトウェアアップデート管理システムに関する国連規制第156号、自動車線維持システム（ALKS）の型式承認に関する国連規制第157号

USA: FCC: KDB: 相互承認協定（MRA）の条件に基づいた適合性評価機関の承認の手続き

- MRAは、適合性評価結果の受け入れに関する点についてのみ対応し、規制要求事項や技術基準の整合を目指すものではない。MRAの主な目的は、市場に出る製品が輸入経済圏で適用される技術的規制を遵守していることを保証しながら、製造者の負担を軽減し、透明性のある適合性評価プロセスを実施することにより、製品を販売するためのコストと期間を削減することである。

USA: CPSC: パンデミック: 製品関連の一部の傷害に対する救急治療室の処置が増加

- パンデミックの間に救急外来の件数は全体的に減少したものの、製品に関連する一部の傷害に対する救急治療室の処置は増加。ボタン電池関連の傷害は、幼児（5～9歳）で93%も増加した。

EU: EMC 指令整合規格: 制御回路デバイス、マルチメディア機器関連変更

- 本日付けの欧州 Official Journal にて、EMC 指令の整合規格に関する実施決定を修正する実施決定が公示された。制御回路デバイスとスイッチング素子、およびマルチメディア機器の電磁両立性に関する整合規格に関する実施決定（EU）2019/1326を修正するもの。
- その他サマリーリストが、2021.3.16付で公開されている。

UK: 製品安全: グレートブリテンに関して、2021年1月1日から何が変更されたか？(1/3)

UK 製品安全基準局 2021年1月 発行。

- 2021年1月1日から、2018年欧州連合（離脱）法が施行される。当該法にはEU由来の法律が保持され、UK国内法における製品の安全性や計測法が含まれる。製品の安全性と計測等（修正等）（EU離脱）規制2019は、UKのEUからの離脱から生じる欠陥（EU機関への言及など）に対処するために、この保持された法律を修正する、そして2021年1月1日からのGB（グレートブリテン）市場のための特定の規定を作成する。

総務省: MRA 国際ワークショップ 2021 を開催

- 我が国と米国、欧州及びシンガポールとの間で締結・発効している電気通信機器に関する相互承認協定についての国際シンポジウムである。本プログラム及び講演内容文書へのリンクは、本稿に記載のウェブページに掲載されている。

社長の独り言

2021 年 3 月 15 日

濱口 慶一

新型コロナの緊急事態発令も一部の地域は別として、解除の方向になりつつありますが、皆様には感染もなく、お元気に活動されておられますよう祈念致します。

最近、監督省庁からいくつかの質問があり、回答したのですが、読者の皆様に公開した方が良いのではと思った話題を今回紹介したいと思います。また、その回答を受けてのコスモスの今後の営業戦略の基本姿勢を宣言させていただき、皆様の熱いご支援と厳しいご指導を賜りたく願う所です。

監督省庁から、現在の製品安全業界において外国機関の脅威を感じるようなところがあれば報告して下さいとのことでしたので、私の 40 年余の製品安全業界活動の経験から次のように回答しました。

「日本国内で活動している外国の認証・評価機関の中には、必要な経費を基本的に外国の本部に処理してもらって経営活動をされるところが多く、赤字経営でも本社の閉鎖指示が無い限り経営を継続することが可能です。しかし弊社のような民間企業においては、日本国内の銀行の支援を得ることを基本に、大きな設備投資などをこれまで実施してきました。銀行から資金を調達すると、銀行の貸付金額をきちんと計画通りに返済していくことが会社経営において求められ、最大で二期赤字経営が続くと会社の組織最高責任者の交代や、場合によっては会社の清算が要求され、最悪のケースでは資産の売却などの処理になるわけです。ですから、弊社などは黒字経営が必須です。

外国機関の一部には、黒字にすると大きな事業税を支払わなくてはならないので、赤字経営にして事業税の支払いを回避する戦略をとるところがあります。特にこの業界の外国機関は、本国では著名な認証機関、試験所として、地方の自治体から設備新規投資の助成としての多額の助成を引き出し、日本国内では民間への助成の阻害や、市場の独占への大規模設備投資をどんどん進めていくことを戦略としています。その結果、設備投資が成功している、いないに関わらず、次の設備投資が継続していくので、民間の弱小企業にとっては大きな脅威になっています。また、一部の政府機関の刊行物で特定の外国機関の認証が、その国で取得が義務づけられているかのように表現している資料などがたくさんあります。」

外国機関に負けないように、コスモスは日本企業側の立場に立って、製品安全業務に関して、より品質レベルの高いサービスを適正な価格で、約束した確かな納期で提供することを最大目標として経営にあたっています。日本が私たちに要求している反社会的勢力と関わり合いの禁止も引き続き徹底します。また、海外の製品安全マークがその国で要求される強制マークなのか、私設の製品安全マークか明確にお客様に提示していきます。お客様から見てどうもこの通りでないように見えるときは、どんどんコスモスへの要望として厳しい姿勢でご指導賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

弊社は申請代行業からスタートし、評価業務も併せて多くのご依頼を賜ることができました。これに加えて、皆様の要望として医療機器の認証業務を実施できるよう国の認可をいただき、現在では医療機器認証件数で国内最高の認証件数を保持できるようになりました。疾病の診断、治療、予防に使用される医療機器には、その危険度の高さによっては人の生命や健康に重大な影響を及ぼすものもあります。お客様の製造する医療機器による犠牲者が出ないように、認証業務において今一層気を引き締め、認証審査、認証判定に全力で従事して、濱口個人の終活にすることをお約束いたします。

この 4 月より、国立大学法人の長岡技術科学大学でシステム安全工学を学ぶことになりました。学んだことを弊社の技術者の指導に活かしたいと考えています。2 年間授業を受ける必要があり、趣味を楽しむ時間を卒論作成に費やしたいと計画していますので、趣味の養蜂からは身をしばらく引きます。来月には、72 歳のピッカピッカの新入生の感想を報告します。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2021-04-01 (No. 129)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2021 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。